

学校だより 第245号(8-3)

令和8年5月29日

け や き

櫻



横浜市立永田中学校
横浜市南区永田みなみ台7-1
TEL045-715-5511

自然教室を終えて ～《楽学両道》大自然の中で育んだ絆～

副校長 江ヶ崎仁文

初夏の爽やかな風と鮮やかな緑に包まれた5月8日(金)から9日(土)の2日間、2学年は山梨県西湖根場村での自然教室を実施いたしました。今年度のスローガン《楽学両道～みんなで楽しむ根場村～》のもと、生徒たちは「楽しむこと」と「学ぶこと」を立派に両立させ、一回り大きく成長して横浜に帰ってきました。

■ 1日目：挑戦と発見の連続

4号車に乗車させて頂きましたが、生徒たちの素晴らしい挨拶が響き、清々しいスタートとなりました。西湖でのカヌー体験では、最初こそ「うまく進めるかな」と恐る恐る漕ぎ出していた生徒たちでしたが、次第に大きな掛け声が湖上に響き渡ります。最後には全員の息がぴったり合った見事なパドリングを披露してくれました。樹海ハイキングでは、ヘルメットを装着して「こうもり穴」の洞窟探検に挑みました。起伏のある道に、達成感とともに心地よい疲労感を味わったようです。夕食は各民宿でのバーベキュー。自分たちで焼く肉や野菜の味は格別だったことでしょう。消灯前のひととき、民宿の部屋ではどのような語らいがなされたのでしょうか。仲間と過ごした夜は、きっとかけがえのない思い出になったはずです。



■ 2日目：協力と感謝

2日目のメインイベントは「ほうとう作り」です。仲間と協力しながら生地をこね、野菜を煮込んで作り上げた手作りの味は格別だったようです。自分たちで苦労して作ったほうとうを囲み、満足そうに完食する生徒たちの姿が印象的でした。退村式では根場村の民宿の皆様へ感謝の気持ちを伝え、横浜に戻ってきました。



■ そして次なるステップへ

この2日間で生徒たちが得たものは、単なる思い出だけではありません。仲間と支え合い、ルールやマナーを守りながら集団生活を送る中で、「新たな自分」や「仲間の良さ」に気づく力を養うことができました。保護者の皆様におかれましては、これまでの準備や健康管理、ご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、6月11日(木)に行われる体育祭も着々と準備が進んでいます。応援団は朝や放課後の練習を頑張り、クラスも様々な競技の練習で盛り上がっています。当日もたくさんの場面でクラスや色ごとの協力や団結が見られると思います。3年生は最上級生としてのリーダーシップや力を発揮してくれることを期待します。